第26号
2012年2月1日発行

いちかわみさと 議会だより

●ねがい（六郷・日向山）

平成23年 12月定例会

第2回臨時会

●条例改正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
●平成23年度一般会計補正予算・・・・・・・・ 3
●常任委員会報告・・・・・・・・・・・・・ 4～5
●５議員が一般質問・・・・・・・・・・・・ 6～8
●審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
●みんなのページ・・・・・・・・・・・・・・・ 12

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1790－3
TEL:055－272－1108　FAX:055－272－2525
E-mail:gikai-m@town.ichikawamisato.lg.jp
発　行／市川三郷町議会
責任者／議長　松野　清貴
編　集／議会広報編集特別委員会

第4回12月定例会

平成23年第4回定例会は、12月8日から16日までの9日間にわたり開催されました。今定例会では、平成23年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例改正など18議案、同意4件、諮問3件、発委1件などが提案され、いずれも原案のとおり可決、同意、承認されました。

条例の制定・改正

介護予防事業の促進と充実！

■介護サービス事業基金条例の制定

繰越金となっている事業収益を管理し、介護予防サービスなどの提供に備えるため、制定されました。

犯罪被害者に対し町が支援を。

■安全・安心なまちづくり条例中改正

犯罪被害者等基本法に規定されている「地方公共団体の責務」を明確にするため改正されました。

■特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正

スポーツ基本法が施行されたことに伴い、名称変更等の一部が改正されました。

■職員給与条例及び職員の特殊勤務手当に関する条例中改正

介護職員の処遇改善の一つとして、適用給料表を変更するため改正がされました。

■税条例等中改正

地方税法の一部改正及び県税条例の改正に伴い、条例の一部が改正されました。これにより、罰則規定の強化と、寄附金税額控除の対象が拡大されます。

■都市計画税条例中改正

地方税法の一部改正に伴い、適用条項が改正されました。

■障害者施策推進協議会条例中改正

障害者基本法の一部改正に伴い適用条項が改正されました。

■介護従事者処遇改善臨時特例基本条例の廃止

第4期介護事業が終了するため廃止されました。

平成23年度

一般会計補正予算

（万円未満は四捨五入）

収入支出の補正額は

補正額　1億　915万円

総　額　86億6,162万円

収入のおもな内訳は

地方交付税	3億541万円
分担金及び負担金	128万円
国庫支出金	819万円
県支出金	626万円
借入金(町債)	△2億1,200万円

おもな使いみち

総務費

例規追録代追加	450万円
衛星携帯電話購入費	1,213万円

民生費

子育て支援医療費助成金追加	492万円
私立保育所運営費委託料追加	1,974万円

衛生費

自然エネルギー有効活用推進奨励金追加	360万円
簡易水道特別会計繰出金追加	138万円

農林水産業費

農業集落排水事業特別会計繰出金追加	53万円
地域農業再生協議会補助金追加	30万円

土木費

町道２号矢作幹線用地購入費	857万円
下芦川地内水路改修工事更正	△458万円
公共下水道事業特別会計繰出金追加	423万円
市川大門駅前整備事業用地購入費	1,300万円

消防費

消防団員等公務災害補償負担金追加	1,152万円

教育費

市川南小学校電話修繕費	67万円
六郷中学校特別教室棟改築業務委託料	104万円
下九一色地区内集会所改修工事費	378万円

災害復旧費

芦川護岸・取水導水路災害復旧工事	257万円

●芦川決壊

本村・新道2号線道路側溝復旧工事	300万円
大木法師倉線法面復旧工事	650万円
落居割石線法面復旧工事	700万円

第2回臨時会

第２回臨時会は11月25日開会され、承認１件、条例改正１議案を審議した結果、原案のとおり承認、可決されました。

台風15号、災害関連など2、848万円を追加（専決）

平成23年度一般会計補正予算（第４号）を承認

公民格差解消のため、平均0、19％引き下げ

「職員給与条例中改正について」可決

県人事委員会勧告に伴い、主に40歳以上の中高齢層職員が受ける給料月額に限定して引き下げを行う。

常任委員会報告

（質疑の一部を要旨のみ掲載します）

総務教育

開催日 12/9

問　犯罪被害者等基本法の成立で、本町における具体的支援と、窓口は。

長澤総務課長　現状では相談業務や情報提供である。窓口は、総務課の防災防犯係で、相談先の調整を行う。

問　町はどこまでの範囲の対応をするのか。

総務課長　できる範囲の相談を受けながら、県や警察等関係機関と連携をとり、進めて行く。

問　衛星電話の購入で、既存の3台以外の設置場所、有事の際の充電の方法、ランニングコストは。

総務課長　本庁・両支所に各1台づつあり、リースなので購入後は廃止する。三珠・山保・大同・六郷地区の26台で、ガスコンロで充電できる機械とセットで購入を予定。ランニングコストは月1台あたり5、145円となる。

問　有事に備えて、通話試験等の計画はあるか。

総務課長　所持していただく区長等への、説明会や定期的な通話試験を考えている。

●衛星電話

厚生

開催日 12/12

問　介護サービス事業で積立額の規定があるが、22年度の実質収支額が積立額になるのか。

青柳福祉支援課長　居宅サービス事業収入は全て委託しており、歳入が全て委託先に支出されるので現状積み立てられるものはない。

問　要支援者、認定外の要援護者に対し、必要と認めるときの基準は。

福祉支援課長　基金条例を制定し、運用については目的にあった使い道を考えて行く。

問　震災の影響で医療整備に伴う国・県の補助金がカットされ、医療機器整備の障害は。

久保病院事務長　緊急度の高いものは、賃借料で整備し、ビデオスコープ・腎盂ビデオスコープ等は先生方と相談し、来年度以降申請して行く。

問　国民健康保険給付費の追加の金額が大きいが、来年度の状況は。

砂田町民課長　昨年から今年は、ほぼ横ばいで大幅な伸びはなく、来年度の保険料は現状で行きたい。

問　耐震工事費の予算更正がこの時期になった理由は。

塩島三珠支所長　内容変更があっては困るので、今回の更正となった。

●完成した三珠総合福祉センター

土木環境

開催日 12/13

問　太陽光発電設置の新旧住宅の比率は。

河西生活環境課長　10月末で新築19件・約30％、既築45件・約70％。

問　全体の工事費に占める補助金が少ないが増やす考えは。

生活環境課長　国・県の補助金もあるので今後様子を見ながら検討する。

問　設置費用の状況は。

生活環境課長　1キロワットあたり3万円を補助し、上限12万円。

問　大塚地区の要望で、直売所・道の駅等の具体的な計画は、又、25年度完成の可能性は。

小林産業振興課長　直売所は、組合員と協議を始めているが25年度の完成は難しい。

問　荒廃している落居金山沢の現地調査は。

産業振興課長　状況を調査し、県に要望したい。

問　市川大門駅前の用地購入の目的と今後の計画は。

加藤建設課長　駅前広場と一体で駐車場として活用したい。

問　県の道路計画や人口増加策等を含めた計画は。

町長　リニア新幹線等の関連もあり、大門駅・落居駅の駅前、周辺整備をしっかり行いたい。

問　町道2号矢作線の、用地買収で拡幅する場所は。

建設課長　三珠のセブンイレブンから新田橋先の交差点に抜ける区間。

問　公共下水道事業の設計委託料の追加場所は。

生活環境課長　山王区画整備事業に伴う認可変更を行なう1、8ヘクタール分500万円の追加。

峡南3病院の経営統合に向けた任意協議会を設置

市川三郷町と富士川町は、県の地域医療再生計画および意見集約に基づき、峡南北部地域の医療充実を目指し、12月27日、市川三郷町立、社会保険鰍沢、峡南病院の経営統合に向けた任意協議会を設立した。

任意協議会は町議や病院関係者ら24人で構成され、会長に市川三郷町長、副会長には富士川町長が専任する。

24年1月より診療体制や運営形態など具体的協議に入る予定。

お答えします Q&A

Q　町の歴史、文化、クイズなどを紙面に加え、多くの人に読んでもらえるような工夫を。

A　限られた紙面ですが、手にとって見て頂けるよう充実した内容づくりに努めていきます。

Q　総括質疑はいつ行なわれるの？

A　定例会の初日、町長から議案の説明があります。それを受け、総体的な質問を行ないます。（総括質疑）

（具体的な内容の質疑応答は、総務教育、厚生、土木環境常任委員会に付託されます。）

お答えしますQ&Aのコーナーは、議会広報モニターから寄せられた質問や意見の一部をお答えしたものです。

ここが聞きたい

一般質問　行政をただす

町の行政全般に対して、事務事業の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信をただしました。

◆掲載は要旨のみとします。
◆議事録は議会事務局で閲覧できます。
◆ホームページで本会議の議事録を検索できます。
◆顔写真は年1回初回のみとします。

山梨大学だけに頼らない　町独自で医師確保を!!

一瀬　正

―協議会の結論を見きわめていく―

問　病院医師の定年を70歳までに引き上げては。

町長　地方公務員法で68歳まで勤務可能であるが、激務の負担は大変だと思う、70歳定年は認められていない。

問　医師養成奨学金制度を創設する考えは。

町長　県では実施しており、公立病院を持つ市町村の状況を調査する。

問　町立病院の改築を明示する考えはあるか。

町長　今年3月に耐震補強工事が完了したが、老朽化が激しく修繕費がかさみ、早い建て替えが望ましいが、病院経営統合に向けた協議会の結論を見極めていく。

問　重度障害者医療助成制度の後退を危惧するが。

町長　現制度の存続を県へ申し入れる。

問　原発事故の放射能汚染防護の測定を定期的に行う考えは。

町長　7月27日町内3地点での測定結果は健康に影響が生じるレベルの数値ではなかったが、3台くらい町で購入、学校等で測定していく。

問　介護保険第5期計画での保険料の改訂方針は。

町長　制度の定着につれ総費用が増大。超高齢化を迎え負担増は免れないことを理解願いたい。

問　避難場所の変更及び食糧等の備蓄、点検は。

町長　組・区単位の自主防災組織として協議することは必要。

保管食糧として町内17ヶ所の備蓄倉庫で、管理している。

問　子ども手当の支給で、年少扶養控除廃止等により、保育料、扶養控除の見直しが心配されるが。

町長　税額の変動を調整し、影響を出来るだけさけたい。

高田排水機場の現状は

― 早期改修に努力する ―

市川朝嗣

問 台風15号により、高田大正地区では床上、床下浸水が2、3件あり、自宅に帰れない家庭もあった。

経年変化による能力不足もあると思うが、能力を有した機械も老朽化が進み、半分くらいに落ちているものと考えられる。

芦川と、印川に挟まれた地域の雨水がすべて高田排水機場に流入し、富士川の逆流を防ぐ水門を閉めることにより、天井川である鳴沢川の水位の上昇は高田、野中地区の住民にとって脅威である。

高田排水機場の現状をどのように考えているか。

町長 昭和40年度から43年度にかけ、県営堪水防除施設とし、排水能力毎秒1、7㎥の排水機2台と樋門・排水路を設置した。

昭和43年度に町へ財産譲与を受け、以後町による管理をおこない43年が経過している。

これまでも排水機場の改修や更新を検討し、国や県など関係機関に要望しているが、県土整備部では、基本的には管理者または、設置者が改修をおこなうものと考えているが、受益面積の基準不足、排水路が一級河川のため、困難な状況である。

改修には多額の費用が見込まれ、時間を要するので、オーバーホールや保守点検をし、さらに今後事業要件を満たす調査検討をおこない、早期に改修できるよう努力する。

催し、行事等の調整を

― 今後、政策推進室で調整を行う ―

笠井雄一

問 四季折々に行うふるさとまつりをはじめ、年間を通し実施する催し、事業、公民館活動等、重ならないようにするため、年度当初関係課の計画を持ち寄り、調整する必要があると思うが。

町長 大きな事業およびイベントは四季の祭、住民健康診断、健康と福祉の集い、子育て支援フェスティバル、介護予防事業、大門碑林、三珠文殊書道展、成人式および出初式があり、毎年実施しており重なる事はめったにない。公民館の事業は町の計画を参考にしてほしい。ぼたんの花祭、大塚にんじん収穫祭等は天候気候で左右される、調整しずらい事も承知してほしい。

問 事業が重なり合っても、関係課同士で詳細に打ち合わせをし、相乗効果が得られた例もある。似かよった事業は財政面からも調整の必要もあるかと思うが。

町長 今まで調整機能が果せなかった、政策推進室にその仕事をしてもらう。

●六郷の里　秋まつり

「住民会議」の提言・具体化は!!

― 新たな開発を含め、取り組む ―

内藤　優

問　仮称六郷インターチェンジ周辺のまちづくりを考える、住民会議からの提案をどのように受けとめているか。

町長　期待の大きさを感じ、重く受け止めている。

インターチェンジ周辺や甲斐岩間駅周辺は、農業の振興や防災対策など検討し、地域にふさわしい土地利用のあり方を模索し、可能な限り実現できるよう努力する。

問　岩間駅東側の開発、多目的広場整備事業について、今後どのように取り組んでいくのか。

町長　事業執行には課題が多く進展するに至らないが、本年7月に、関係各課から成る、甲斐岩間駅東側開発検討チームを発足させ、提言を踏まえ、新たな開発等を含め取り組んでいる。

問　現段階での、具体的な方針は。

町長　現状は駅周辺の景観を損ねている状況であり、早急に進入路を整備し、周辺農地の所有者の協力を得る中で、荒廃地の解消と景観形成を図り、将来を見据え、しっかりとした計画を十分検討する。

●岩間駅東側

がん対策、胃がんリスク(ＡＢＣ)、前立腺(ＰＳＡ)検診の導入を

― 精査し検討する ―

宮崎　博巳

問　胃がんはピロリ菌の感染が原因で起こるといわれている。血液検査で気軽に受けられる胃がんリスク(ＡＢＣ)検査の導入は。

町長　現在は、研究班で評価を始めたばかりであり、町内医師会、町立病院においては、導入が進んでいない、今後国の動向、医師会や、関係機関等と慎重に精査を行っていく。

問　胃がん検診の受診率が23％前後と低いが。

いきいき健康課長　問診の段階で危険性の高い人（高血圧、骨粗しょう症、便秘）がおり、遠慮していただいている。受けにくい、条件が厳しい、という事でなかなか上がっていない。

問　検診率アップに向けての対策は。

いきいき健康課長　検診において無料、特定検診とがん検診とのセットで無料化、またクーポン券の配布など工夫し努力している。

問　血液検査で行える前立腺がん検診(ＰＳＡ)の導入は。

町長　個別検診の人間ドックで50歳以上の男性を対象に受けられる用意はしてある。住民健診において導入するかは、今後検討する。

問　女性の視点を生かした防災会議を検討すべきと思うが。

町長　3・11、台風15号の経験を生かし、問題点を注視して早い時期に対応、整理して取り組んでいく。また委員構成に付いては、防災対策基本法、条例に於いて定められている。現在女性は2名であるが4名に増やすことや、参画を推進していく。

組合議会の報告

峡南広域行政組合

第2回定例会 10月26日

専決処分の承認1件、平成22年度決算認定3件、23年度補正予算2件、常任委員、議会運営委員、公平委員、監査委員の選任についての10件であり、いずれも可決、承認、認定、同意されました。

本町から総務、消防常任委員に望月隆夫議員、秋山詔樹議員、計算センター、慈生園常任委員長及び議運委員に井上達雄議員が選任、公平委員に本町の渡邉正弘氏が再任されました。

第1回臨時会 11月28日

条例改正1件、平成23年度補正予算2件、契約案件1件、いずれも原案のとおり可決されました。契約案件については、高規格救急自動車及び高度救命処置用機材の売買契約締結されました。

（報告　井上達雄）

平成22年度 峡南広域行政組合決算

一般会計	
歳入	15億8,709万円
歳出	15億6,657万円
差し引き	2,052万円
本町の負担額	3億3,016万円
介護保険特別会計	
歳入	2億6,847万円
歳出	2億6,143万円
差し引き	704万円
本町の負担額	0万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	
歳入	3,554万円
歳出	3,434万円
差し引き	120万円
本町の負担額	0万円

中巨摩地区広域事務組合

第2回定例会 9月30日

平成22年度決算承認8件、23年度特別会計補正予算3件であり、いずれも原案のとおり可決されました。

第2回臨時会 11月28日

条例改正では、県人事委員会の給与勧告に伴う改正であり、中高齢層が受ける給与月額に限定して値下げする改定です。

（報告　内田利明）

平成22年度 中巨摩地区広域行政組合決算

一般会計		**老人福祉事業特別会計**	
歳入	3,751万円	歳入	3,177万円
歳出	3,466万円	歳出	3,015万円
差し引き	285万円	差し引き	162万円
本町の負担額	269万円	本町の負担額	236万円
ごみ処理事業特別会計		**勤労青年センター事業特別会計**	
歳入	18億6,165万円	歳入	6,127万円
歳出	18億1,020万円	歳出	5,948万円
差し引き	5,145万円	差し引き	179万円
本町の負担額	1億7,907万円	本町の負担額	564万円
地区公園事業特別会計		**し尿処理事業特別会計**	
歳入	971万円	歳入	2億6,285万円
歳出	735万円	歳出	2億5,699万円
差し引き	236万円	差し引き	586万円
本町の負担額	36万円	本町の負担額	0万円

峡南衛生組合

第2回定例会 10月13日

平成22年度決算認定、23年度一般会計補正予算及び監査委員の選出の3件であり、議長の辞職願が提出されたため、議長選挙を行い、本町の志村公人議員が議長に当選されました。

以上提案された議案、同意は原案のとおり可決されました。

第2回臨時会 11月28日

職員給与条例の一部改正、一般会計補正予算の2件で、原案どおり可決されました。

（報告　内藤　優）

平成22年度 峡南衛生組合決算

一般会計	
歳入	5億1,310万円
歳出	4億9,051万円
差し引き	2,259万円
本町の負担額	7,069万円

三郡衛生組合

第2回定例会　9月30日

平成22年度決算認定3件と監査委員及び公平委員の選任についての5件であり、いずれも原案どおり認定・同意されました。

第3回定例会　11月25日

職員給与条例の一部改正1件、県人事委員会勧告に伴う改正であり、原案どおり可決されました。

（報告　宮崎　博巳）

平成22年度　三郡衛生組合決算

一般会計	
歳入	1,762万円
歳出	1,534万円
差し引き	228万円
本町の負担額	236万円
し尿処理事業特別会計	
歳入	3億　819万円
歳出	2億9,761万円
差し引き	1,058万円
本町の負担額	3,501万円
火葬事業特別会計	
歳入	1億9,038万円
歳出	1億7,891万円
差し引き	1,147万円
本町の負担額	1,467万円

山梨県後期高齢者医療広域連合

第2回定例会　10月27日

平成22年度決算認定2件、平成23年度一般会計補正予算2件であり、いずれも原案どおり認定可決されました。

（報告　望月隆夫）

平成22年度　山梨県後期高齢者医療広域連合決算

一般会計	
歳入	5億2,047万円
歳出	5億　8万円
差し引き	2,039万円
本町の負担額	1,278万円
特別会計	
歳入	865億2,257万円
歳出	861億2,616万円
差し引き	3億9,641万円
本町の負担額	1億7,632万円

人事

固定資産評価審査委員会委員

依田千利世　氏　市川三郷町上野

渡邉　正弘　氏　市川三郷町市川大門

笠井　彰　氏　市川三郷町岩間

教育委員会委員

石原　政至　氏　市川三郷町上野

西日向外三山恩賜県有財産保護組合議員

有泉　賢一　氏　市川三郷町中山

小林富士男　氏　市川三郷町高萩

石原　清司　氏　市川三郷町高萩

人権擁護委員

上田　勝也　氏　市川三郷町落居

島田三貴子　氏　市川三郷町上野

河西　厚　氏　市川三郷町岩間

デイサービスセンター指定管理者

社会福祉法人　市川三郷町社会福祉協議会　会長　入原武之助

地場産業会館指定管理者

市川三郷町商工会　会長　秋山　詔樹

審議結果

◎第２回臨時会（11月25日）　結果

・平成23年度一般会計補正予算（第4号）の専決処分につき承認を求める	承認	全会一致
・職員給与条例等中改正	可決	賛成多数

◎第４回12月定例会（12月8日～16日）　結果

・介護サービス事業基金条例制定	可決	全会一致
・安全・安心なまちづくり条例中改正	可決	全会一致
・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等中改正	可決	全会一致
・職員給与条例及び特殊勤務手当に関する条例中改正	可決	全会一致
・税条例等中改正	可決	全会一致
・都市計画税条例中改正	可決	全会一致
・障害者施策推進協議会条例中改正	可決	全会一致
・介護従事者処遇改善臨時特例基金条例廃止	可決	全会一致
・平成23年度一般会計補正予算（第5号）	可決	賛成多数
・平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	賛成多数
・平成23年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	賛成多数
・平成23年度簡易水道特別会計補正予算（第3号）	可決	賛成多数
・平成23年度公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	全会一致
・平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	全会一致
・平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	全会一致
・平成23年度病院事業会計補正予算（第1号）	可決	全会一致
・デイサービスセンターの指定管理者の指定	適任	全会一致
・地場産業会館の指定管理者の指定	適任	全会一致
・固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める（3件）	同意	全会一致
・教育委員会委員の任命につき同意を求める	同意	全会一致
・西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	決定	全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める（3件）	適任	全会一致
・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出	採択	全会一致

討論

一般会計補正予算（第5号）

（反対）一瀬　正　議員

県人事委員会勧告に伴い条例改正に基づく職員給料が減額計上されている、公務員の給料を下げる事は民間への影響も大きく、景気浮揚に逆行する。議案第73号の他3件に反対する。

（賛成16・反対1）

請願

採択

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

請願人

市川三郷町ＰＴＡ協議会　会長　和田　豊

市川三郷町公立小中学校長会　会長　内藤　郁夫

市川三郷町公立小中学校教頭会　会長　小林　誠佳

山梨県教職員組合峡南支部　東部班　班長　穴山　忠彦

紹介議員

有泉　希

笠井　雄一

議会傍聴にお出かけください

次回定例会は３月中旬に予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人　　委員会 各8人

◆12月定例会の傍聴実績（のべ人数）

本会議 15人　　委員会 3人

◆会議録検索システム利用件数

1月から12月まで 4,487件

◆お問い合わせ

議会事務局　TEL055-272-1108

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字原稿用紙1枚以内、氏名(区分)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ:議会事務局　☎055-272-1108

三珠保育所の子どもたち！

四季を楽しみながら保育所から行けるいろんな散歩コースがあります。

交通ルールを守りながら、お兄さん、お姉さんが年下の子たちと手をつなぎ異年齢とのかかわりを持ちながらの散歩です。時には、歩いて歌舞伎公園まで遠足に行く事もあります。

また、例年の事ですが春になると５歳児クラスの子ども達が一輪車の練習を始めます。秋の運動会に向けて取り組み、当日、その成果を披露します。他のクラスの子どもたちは、その素敵なお兄さん、お姉さんの姿に憧れをもち、自分たちが同じ年齢になったときの姿を描いているように思います。

子ども達が、子ども達から受け継がれている心の育ちを大切にしています。今日も、園児６５名が、子供パワーを発揮し、いっぱい遊んで、いっぱい学んで、おいしく給食を食べて一人一人が輝いています。

●元気いっぱい子どもたち

編集後記

跋(ばつ)

もう少しで、3月11日が、やって来る。国民が、心身ともに大きな痛手を負った、東日本大震災から一年である。復旧復興も進んではいるが課題も多く抜本的な復興は見通しさえつかないのが現状である。

関東大震災から90余年、阪神淡路大震災から17年が経過し、マンネリ化した防災訓練も昨年度は、町民の意識も高かったと聞いている。いつ起こるかわからない災害に「備えあれば患えなし」と言うが、災害を忘れることなく、備えとは何か考える日にしてほしい。

議員も初心を忘れずに活動したいものである。「議会だより」も町民のパイプ役として、正確に分り易い紙面作りに努めてまいります。(記　市川　朝嗣)

議会広報編集特別委員会

委員長　宮崎　博巳
副委員長　笠井　雄一
委　員　土屋惠三郎
市川　朝嗣
川崎　充朗
有泉　希